

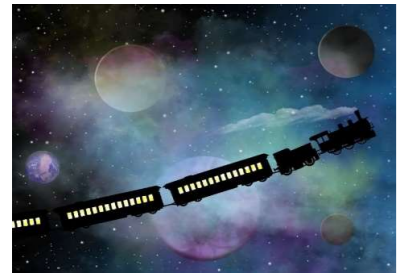
ショート

利用者さま
年輪インタビュー!

『雨ニモ、風ニモマケズ』
吉岡エイ様 昭和9年生まれ 88歳



孫たちからプレゼントされたアルバムと



私は花巻の小舟渡の生まれ、私が生まれる前は家の周りをデクノポー(宮沢賢治さん)が黒いマントを羽織ってオロオロと歩いていたそう。3人兄妹で、私、妹、弟。父は何も言わず、母は気が強いいつも勉強しろと…。ピンボーで、苦労はいっぱい。生活は母の実家の10人の大家族でお手伝いをして得ていたようだ。戦後は初の新制中学に、男女共学でドキドキの3年間だった。最初の仕事は寿デパートで生地売り場に、当時は切り売りだったね、今のマルカンの場所だよ。

結婚はさ、23歳の時で見合いだった。相手は釜焚き(国鉄機関士)をやっている人で、坊主頭で一見生真面目な人だったな。嫁入り道具はどんなにかき集めても柳こおりひとつで相手に恥ずかしくてしょうがなかった。お父さんとは機関士の勉強と一緒にやったよ、石炭のくべかたや、バルブの開け閉めや汽笛、イチニッサン、イチニッサン!今で言うイメージトレーニングだな。他には数学、速度や加速や重量の計算とか、試験は3回まで落ちたのは覚えている。「苦労は絶対に報われる!」山田線、釜石線、北上線、どこも坂道のきつい難所路線だったね。

子供は娘二人、ふたりとも教職に就いた。すごい努力をしていた。二番目は第一希望に叶わなかったけど、アルバイトを重ね足を痛めてまでも貰った。

お父さんの良さを知ったのは定年を迎えてから。友達を家に呼んでお酒を飲んで、あんなに笑っている姿は初めて見た。お父さんの小さいころは肺の機能が良くなく兵役が免除だったこと、だからいじめられっ子だったと。オロオロアルキ、ホメラレモセズ、クニモサレズ…「んでも、いじめられても強くなれた!ウチのお父さん!」お父さんの鳴らし方(汽笛)は今でも心の中に響くよ。

西暦2000年ちょうどに体をこわしてしまって、そこから4回転んで4回骨折した。孫達から「七転び八起き」米寿のアルバムを作って祝ってもらった。まだまだ出来ることがいっぱいある、もっと思い出を作りたい。この間、東京に行くこともできた。もっぱらスポーツ観戦が好きで、夜中でも夢中になれる。サッカーに、プロ野球はオリックス(孫が働いている)なにしろいちばんはJAPANだ。

母の日(5/14)



●母の日にささやかですが、スタッフ手作りのカーネーションのプレゼントがありました!!



●ショートホールを見上げると、天の川が!!
少しずつ動いて、七月七日に織姫と彦星が真ん中で出会いました!



手作りおやつ(6/26)



●フルーツや生クリームでトッピング!華やかなフルーチェ盛りの完成です。



デイ

※写真掲載にあたっては、個人情報の同意をいただいております。

しょうぶ湯 (5/5)



(R5年) 5月

●洗たくネットに菖蒲を入れ、季節感・香りを楽しんでいただきました。皆さん喜んで入浴されました。



(R5年) 6月

●ミニ劇場 ~水戸黄門 ああ人生に涙あり~
黄門さま・助さん・格さん・悪代官・町娘と、衣装もばっちり!!
利用者さま笑いが絶えず(*^^*)再演のリクエストの拍手が鳴りやみませんでした。



ええ〜い控え、控えおろう!
この紋所が目に入らぬか〜!!

●テイルホールから外に出ると小さな農園があります。春先に植えた、トマトの苗が背丈ほどに伸びました。利用者さまが先生です!支柱の立て方など手ほどきを受けながら!収穫が楽しみです。



(R5年) 7月

